

令和6年度 宮原小学校経営の基本方針、目標と具現化の構想

- ◇日本国憲法 ◇教育基本法 ◇教育関係法 ◇学習指導要領 ◇熊本の心
- ◇熊本県教育大綱◇くまもと「夢への架け橋」教育プラン◇熊本県人権教育取組の方向
- ◇熊本県教育庁各課取組の方向 ◇八代教育事務所取組の重点
- ◇氷川町の教育ビジョン～ふるさとの大地に輝く氷川っ子～

【基調】 心豊かでやる気があり、自他を大切にする児童の育成の為、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の素地を養う。

【校訓】 健・根・信

【学校教育目標】 主体的に生きる宮っ子の育成

○学校の実態

- ・明治6年の創立から151年目となる歴史ある学校である。

○児童の実態

- ・挨拶・掃除・スリッパ並べ・思いやりの更なる徹底が必要である。
- ・学習規律の徹底・家庭学習の習慣化に課題がみられる。
- ・様々な事情による不登校傾向児童がおり、学校総体での取組や関係機関との連携が必要である。

○保護者の実態

- ・PTA・学校教育活動へ協力的である。

○地域の実態

- ・地域で子どもを育てる気持ちがあり、協力的である。

めざす学校像 「夢がふくらむ学校」

- ・地域から信頼され、選ばれる学校
- ・安心して学び、育ち合う学校
- ・一人ひとりの人権が大切にされる学校
- ・環境整備が整った安全な学校

めざす児童像 「夢に挑む子」

(健) いきいきとし夢を持つ子

- ・心身共に健康で明るい子ども

(根) 粘り強くがんばる子

- ・あきらめず粘り強く取り組む子ども

(信) 互いに信頼し思いやりのある子

- ・互いを信頼し、相手の立場に立った行動ができる子ども

めざす職員像 「夢をはぐくむ教師」

- ・豊かな人権感覚と教育的愛情を持ち、使命感のある教職員
- ・児童一人ひとりを大切に、適切に指導できる教職員
- ・組織の一員としての自覚を持ち、研修と実践に励み自己研鑽できる教職員
- ・周りから信頼され、つながりを大切にする教職員

学校運営協議会

～地域とともにある学校づくり～

「連携・協働」

- ・学校運営の基本方針の承認
- ・学校運営・課題等に関する意見
- ・教職員の任用に関する意見

【経営の方針】

人権尊重の精神を基底におき、学校・保護者・地域が連携・協働し、誰一人取り残さない学びを保障し、主体的に生きる児童の育成に努める。

【重点目標】

- ①誰一人取り残さない学びの保障のための授業改善とICT教育の充実
- ②組織対応によるいじめ見逃し0と不登校児童の減少